

2018-03

つくば市

土地利用
町づくり

生活
安全

作品タイトル

みんなで町を守るシンボル つくばの火の見やぐら

解説

つくば市

キーワード: 火の見櫓 消防団

「火の見やぐら」は防災や災害時に重要な役割を果たしてきましたが、今ではその役目を終え、「鉄塔がたっている」という程度の気づきで、用途を知らない人も多いかもしれません。市内に残っている「火の見やぐら」を確認し、足の数やサイレン、カネの有無、さらに市役所の資料からこわされたものまで丹念に調べて分類し、その分布を地図に表現した労作です。地図に表現することによって、つくば市の北部に多く残り、南部でこわされたものが多いことを作者は発見、開発による市の変容が読み取れる作品になりました。第19回いばらき児童生徒地図作品展優秀賞受賞。

制作者

つくば市立谷田部小学校 3年(横内 新)

制作者による紹介

火の見やぐらは、れんらく手だんが発たつしていなかった時代に火事の発生をいち早くはあくし、カネ(はんしょう)をたたいて住民や近くの集落に知らせるためにつくられました。しかし、さい近は新しくつくられることは少なく、古いものはこわされてしまい、町で見かけることがあまりありません。そこで、ぼくが住むつくば市に火の見やぐらがどのくらいあり、それらがどのような形をしているのかを調べることにしました。

地図作品の対象地域がみられます。

地理院地図



縮尺を調整してご覧下さい。

地理院地図では、地形図のほか、年代別空中写真、地形分類、土地利用など、さまざまな地域の様子を知ることができます。

地理院地図の使い方については国土地理院のHPに詳しく紹介しています。

<https://maps.gsi.go.jp/help/intro/>

茨城県の市町村の位置と地域は茨城県HPをご参照ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/towns/>

茨城県市町村区域図では旧市町村界もわかります。

<https://www.pref.ibaraki.jp/somu/shichoson/gyosei/documents/30.pdf>

こちらのサイトでも地図をみることができます。

Google マップ